

開講科目名 / Course	生徒指導	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	長谷川 祐介	
担当教員名 / Instructor	関根 剛、吉村 匠平、長谷川 祐介	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	1. 教師として生徒指導を行う上で理解すべき考え方（法制度を含む）や理論、実践のための方法などを理解する。 2. 学校で実際に生徒指導を行うための実践能力の基礎を養う。	
到達目標	1. 生徒指導の意義と原理を理解し、生徒指導の3機能について説明できる。 2. 教育課程と生徒指導、学校における生徒指導体制について、説明することができる。 3. 児童生徒の発達特性を踏まえた問題行動への対応の原理を理解し、説明することができる。	
DPとの対応	3.心豊かな人間性と倫理観、5.国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力	
授業計画	01. 生徒指導とは何か：生徒指導の定義 02. 生徒指導の意義と課題 03. 教育課程における生徒指導の位置付け(1)：教育課程の共通性と生徒指導の個性 04. 教育課程における生徒指導の位置付け(2)：学習指導における生徒指導 05. 教育課程における生徒指導の位置付け(3)：道徳、総合的な学習、特別活動との関連 06. 集団指導・個別指導の方法原理 07. 生徒指導体制：生徒指導の組織、教育相談体制、全校指導体制の確立 08. 児童生徒全体への指導：組織的対応と関係機関等の連携 09. 学級経営と生徒指導(1)：基礎的な生活習慣の確立、規範意識の醸成 10. 学級経営と生徒指導(2)：自己存在感を育む場や機会の設定 11. 生徒指導に関する法令：校則、懲戒、体罰、停学及び退学 12. 問題行動への対応(1)：いじめ 13. 問題行動への対応(2)：不登校 14. 問題行動への対応(3)：非行 15. 問題行動への対応(4)：今日的な生徒指導上の課題 16. 問題行動への対応(5)：関係機関との連携の在り方 17. 自己存在感を育む指導法(1)～個別指導の具体的方法 18. 自己存在感を育む指導法(2)～集団指導の具体的方法 19. 教育相談の進め方(1)：児童生徒との教育相談の実際 20. 教育相談の進め方(2)：校内、校外の関係機関との連携	
その他の授業の工夫	・ハンドアウトを配布し、最新の教育事情に関する話題提供を行う。 ・受講者が話し合う機会を提供する。	
時間外学修	授業計画に基づき、事前にテキストに目を通すこと。	
評価方法と評価割合	期末テスト（レポート、80％）と受講態度（20％）により行う。	
テキスト	生徒指導提要（文部科学省）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	特になし	
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		